

## News Letter

## 【「スマ」の完全養殖技術の開発】

新たな養殖魚で収益向上を



養殖新品種として期待される「スマ」 提供：県水産研究センター

は、愛媛大学南予水産研究センターと連携して、今後需要が見込めるスマを、養殖新品種として導入することを目指し研究を進めています。

スマは南方系の魚のため、水温が高くなる夏によく成長しますが、宇和海においては夏に産卵するため、春に産卵する天然種苗に比べ成長が劣り養殖期間が長くなります。このため、愛媛大学南予水産研究センターでは、平成27年春から陸上水槽を用いて環境制御による早期採卵技術の開発を行っています。

また、県水産研究センターでは、愛媛大学で採卵した卵を用いて種苗生産技術の開発を行っています。スマは魚食性のため、ふ化後9日からはふ化直後の仔魚を与える必要があり、今年度はイシガキダイ、イサキ、キジハタ等の仔魚を与えましたが、春の採卵が可能になれば、確保が容易なマダイの仔魚に代えることができます。

県水産研究センターでは、2年で3～4kgの出荷を目指しており、今年8月に1700匹以上のスマの稚魚を海面いけすに沖出ししました。



愛南町にある愛媛大学のいけすに稚魚を移す作業



仔魚（日齢5 4.5mm） 提供：県水産研究センター



稚魚（日齢21 44mm） 提供：県水産研究センター

スマは、県内に多いブリやマダイなどの養殖施設を活用できるため、県内業者が参入しやすく、養殖業の収益向上やリスク分散が期待できますが、一般にはなじみがないため知名度の向上が不可欠です。県では、新しい愛称を検討するとともに、消費者や販売業者を対象にした試食会によるアンケート調査を基に、スマの食味や新たな調理方法などを広くアピールすることにより、スマ養殖が商業ベースとして成り立つことを目指して取り組んでいます。

※スマ：ヤイトとも呼び、胸鰭の下にある数個の黒点に由来した地方名が多い。カツオのように群はつならず、数も少ない。産卵期は春～夏。幼魚は体が細長く、8条以上の横帯がある。東海大学海洋科学博物館で、この若魚を2年以上飼育した例がある。肉は黒っぽいのが美味。全長1m。分布：本州中部以南；ハワイ、西部太平洋。（東海大学出版会発行、「改訂版魚類図鑑」から引用）

# 麦が創る四国の食文化

## 日本作物学会第238回講演会シンポジウム



もち性はだか麦の「ダイシモチ」

「麦が創る四国の食文化」をテーマに、日本作物学会のシンポジウムが9月9日、愛媛大学南加記念ホールで開かれました。

27年連続生産量日本一の愛媛県産はだか麦とこれを原料とした麦味噌の魅力を、地元産小麦でうどんを作る香川県の取り組みに学び、はだか麦の生産振興と麦味噌の郷土食文化を広くアピールしようと開催されたものです。

香川県農政水産部の藤田究さんから、オーストラリア産小麦（ASW）に代わるうどん用小麦として開発された「さぬきの夢2000」

と、それをさらに改良した「さぬきの夢2009」の品種開発とそのブランド化に向けた取り組み、愛媛県農林水産部の山口憲一さんからは、愛媛県のはだか麦作の概況と問題点、気候変動に対応した栽培体系、ハルヒメボシ、ユメサキボシの新品種について講演がありました。また、約40haではだか麦を生産するジェイウィングファームの牧秀宜代表と麦味噌を醸造販売する曾我増平商店の曾我尚登社長が、生産者、実需者それぞれの立場から講演を行いました。

最後に行われたパネルディスカッションと総合討論では、山口大学農学部の高橋肇教授が、「愛媛県では、麦味噌が日常過ぎて麦味噌の味噌汁が特別な郷土料理とは認識されにくい。まずは地元の人が、麦味噌の味噌汁が愛媛県の誇るべき郷土料理であることを知り、もっとアピールしてはどうか」と締めくくり、閉会しました。

## インフォメーション

### 平成26年度食品事業者表示適正化技術講座（愛媛県）

農林水産省では、食品表示が消費者から信頼されるよう食品表示の適正化を推進する事業者の自主的な取組を促進しているところです。このため、中国四国農政局松山地域センターでは、食品の製造業者、流通（小売・卸・輸入）業者の方を対象として、適正な食品表示を行ううえでの留意事項等について学ぶ講座を開催します。

- 日時：平成26年11月13日 9:30～12:30（製造者向け）  
14:00～17:00（流通業者向け）
- 会場：松山市宮田町188 松山地方合同庁舎 6階会議室

お問い合わせ先  
電話 089-932-1379  
表示・規格チーム  
新（あたりし）、松野



農林業センサス

平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

- 農林業経営体調査（平成26年12月中旬～平成27年2月末）
- 農山村地域調査（平成27年4～6月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>